

平成29年度 学校評価（総括評価表）

| 重点課題 | 重点目標 | 評価指標 | 評 価 | | 学校関係者評価 学校関係者の意見 |
|--|--|--|-------------------|------|---------------------|
| | | | 評価指標による達成度 | 自己評価 | |
| 子どもたちの個性や能力に応じた自発的な学びを促し、これからの社会を生きぬく力を身に付けさせる教育を推進する。 | <小学部> ・児童の将来を見据えた生きる力を育むために、教員の専門性と授業力の向上を図る。 | ・学部またはグループで、専門性と授業力の向上を目指した研修会を、月に1回以上実施する。 ・年1回、研究授業を実施する。 ・授業見学を一人1回実施し、授業改善をおこなう。 ・実践事例をまとめ、8月の特別支援教育学会で発表をする。 | | | (所見) |
| | | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | |
| | ・児童一人一人の将来を見据えた生きる力を育むために必要となる課題を明らかにし、それに応じた研修会を学部、またはグループで計画・実施する。 ・研究授業や相互の授業見学を実施し、授業改善をおこなう。 ・授業力の向上を目指した実践をグループで検証する。それを学部全体の取組としてまとめ、特別支援教育学会で発表する。 | | | | |
| | <中・高等部> ・卒業後に向けて、人との関わりの中で社会性やコミュニケーション能力を高め、QOLの向上に努める。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 自己評価 | |
| | ・総合的な学習の時間に、生徒主体で中高部合同のコミュニケーションタイムを年間5回以上実施する ・総合的な学習の時間に、実態に応じてグループや個人による中高合同の発表会を年間3回以上実施する。 | | | | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | | |
| ・生徒全員が参加し、生徒主体で実施計画を立て、学期に2回を目標にコミュニケーションタイムを実施する。 ・進路学習、防災学習、学習参観日等の機会を活用して発表に繋げるとともに、各生徒についての共通理解を深める。 ・コミュニケーションタイムや発表会の様子を随時HPにアップして保護者や関係機関に発信し、情報の共有を図る。 | | | | | |
| <教務課> ・ケース会のあり方について検討・改善等を行うことによって、効率的に個々の学習課題や支援の方法等を共通理解し、より効果的な学習指導や支援ができるようにする。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 自己評価 | | |
| ・検討・改善等を行ったケース会を実施し、アンケートで以前のケース会と比較して、効率的または効果的になったかどうかを問い、「そう思う」、「どちらかというと思う」という回答が70%以上になる。 | | | | | |
| 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | | | |
| ・教務課会で各学部のケース会の現状を把握する。そして、各学部においてより効率的、効果的なケース会のあり方 | | | | | |

を検討し、学部会で意見を聞きながら決定する。

次年度に残された課題

| | | | |
|--|--|-------------------|-------------|
| <p><研究課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の生きる力を育むため、日々の実践を充実させる。 | <p>評価指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで実践を行い年3回の実践報告会等を実施する。 | <p>評価指標による達成度</p> | <p>自己評価</p> |
| | <p>活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部を超えて構成したグループでテーマの検討、実践、報告等をする。 | <p>活動計画の実施状況</p> | |
| <p><特別活動課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒会役員の活動を活性化させることで、全ての児童生徒の自主的活動の推進につなげる。 | <p>評価指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の様々な学校行事に関連して、児童生徒会役員が計画、準備、運営のために集まる回数を12回以上にし、積極的に行事の運営にかかわる。 | <p>評価指標による達成度</p> | <p>自己評価</p> |
| | <p>活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会や学校祭などの各行事の事前準備を見通しを持ち計画的に進めることで、効率的に充実した内容で児童生徒会役員会が開催できるように努める。 | <p>活動計画の実施状況</p> | |
| <p><人権教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習などを基にして、児童生徒の自らの学びにより、人権意識の向上を図る。 | <p>評価指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に実態に応じて、人権に関する自分の意見をまとめて発表することができる。 ・児童生徒、教員対象のアンケートにおいて「自分で考えることができた」「人権意識が向上した」「有意義な活動であった」と、70%以上の回答を得る。 | <p>評価指標による達成度</p> | <p>自己評価</p> |
| | <p>活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関する研修会や校外学習などの体験活動を実施し、その活動に関して事前に学習したり、体験を通して児童生徒自身が考えをまとめたりして、みんなの前で発表する機会を設ける。 ・学習後、教員や児童生徒にアンケートを実施する。 | <p>活動計画の実施状況</p> | |
| <p><情報視聴覚課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個性や能力に応じた自発的な学びを豊かにするため、児童生徒のニーズに即したICT教材や支援機器等を活用する。 | <p>評価指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画「手だて・留意点」に個性や能力に応じた自発的な学びを豊かにするためのICT教材、支援機器等に関する記載が6割以上になる。 | <p>評価指標による達成度</p> | <p>自己評価</p> |
| | <p>活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部ケース会において、個別の指導計画「手だて・留意点」のICT教材、支援機器等に関する記載に基づいた情報交換等を行う。 | <p>活動計画の実施状況</p> | |